

## 原料費調整（スライド）制度に基づく 2026年8月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

記

■「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2026年8月検針分に適用される従量料金単価を、2026年7月検針分に適用される従量料金単価に対し、1㎡あたり－10円21銭（税込）調整させていただきます。

■標準家庭（1か月のご使用量が20㎡）の場合、ガス料金は月額6,323円（税込）となり、204円（3.13%）お支払額が減少します。

※原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1㎡あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2026年3月～2026年5月のLNG、プロパンの平均原料価格を2026年3～4月の貿易統計確報値および2026年5月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は92,140円/t となります。2026年7月検針分のガス料金調整額を算定した2026年2月～2026年4月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2026年3月～2026年5月の実績平均原料価格は、トンあたり4,280円上昇することとなりますが、政府の支援により14.0円/㎡（税込）が値引きされますので、料金調整は上記のとおりとなります。

政府の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」の詳細につきましては、資源エネルギー庁の特設サイト「電気・ガス料金支援」をご覧ください。

<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>

●2026年8月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2026年7月検針分の従量料金単価に対して、-10.21円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価(1m <sup>3</sup> あたり)	
			2026年8月	2026年7月
A	0 m <sup>3</sup> から10 m <sup>3</sup> まで	1,215.61円	279.30円	289.51円
B	10 m <sup>3</sup> を超え170 m <sup>3</sup> まで	1,694.11円	231.45円	241.66円
C	170 m <sup>3</sup> を超え500 m <sup>3</sup> まで	10,576.83円	179.20円	189.41円
D	500 m <sup>3</sup> を超える	12,721.83円	174.91円	185.12円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

※2026年8月の従量料金単価は、政府の支援により14.0円/m<sup>3</sup>(税込)が値引きされています。

●2026年8月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭(1か月のご使用量が20m<sup>3</sup>)の場合

2026年8月適用料金 (a)	2026年7月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,323円	6,527円	-204円	-3.13%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2021年~2025年の月平均使用量です。

●平均原料価格(円/t)および従量料金単価調整額(円/m<sup>3</sup>)

	2026.3~2026.5	2026.2~2026.4	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	91,540	87,440	97,030
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	109,980	88,230	95,050
平均原料価格(LNG換算)	92,140	87,860	97,170

■2026年3月~2026年5月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\ &= 91,540 \text{円/t} \times 0.9788 + 109,980 \text{円/t} \times 0.0231 \\ &= 92,139.89 \text{円/t} \text{ (10円未満四捨五入)} \\ &= \underline{92,140 \text{円/t}} \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 92,140 \text{円/t} - 97,170 \text{円/t} \\ &= -5,030 \text{円/t} \text{ (100円未満切捨て)} \\ &= \underline{-5,000 \text{円/t}} \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1m<sup>3</sup>あたり)の算定

$$\begin{aligned} \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率}) \} - \text{政府の支援による値引き} \\ &= \{ -5,000 \text{円} / 100 \text{円} \times 0.080 \times 1.1 \} - \underline{14.0 \text{円}} \\ &= -18.40 \\ &= \underline{-18.40 \text{円/m}^3} \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.088(0.080×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

※政府の支援により、14.0円/m<sup>3</sup>(税込)が値引きされています。

	2026年8月	2026年7月	増減
調整額(円/m <sup>3</sup> ・税込)	-18.40	-8.19	-10.21

以上

本件に関するお問い合わせ

日本海ガス株式会社

管理部料金センター 長谷川

TEL: 076-442-5020